

The290th Programming Deliberation Committee

第290回番組審議会 議事録

開催日 2025年7月22日（火）

出席者：山田吉彦委員長、角田陽一郎委員、長崎亘宏委員、安藤美冬委員、望月理恵委員

議題（審議番組）：『Investor's Sunday』

放送日時：2025年6月1日、8日(日)9:30-9:55

DJ：西田真澄、江連裕子

会社からの説明

普段あまり表に出ることの少ない第一線で活躍する投資家や経営者をゲストにお呼びして、投資にまつわる専門的な内容から会社経営におけるノウハウ、日本市場の課題、日本経済を元気づけるポイントの深堀りなど、他では聞けない専門性ある経済トークをお送りしている対談番組です。

社会的にも大きな話題となっている昨今のダルトン・インベストメンツによるフジ・メディア・ホールディングスへのアクティビスト活動について、これまでもこの番組では度々その真意を直接メッセージをしてきました。

審議回は、ダルトンがフジ側に提案した社外取締役候補の1人でもある元ジャパンディスプレイ菊岡稔氏をゲストに迎えて、ダルトンが取締り役候補に選んだ理由、菊岡氏はフジ・メディア・ホールディングスの問題点と改善点はどこにあると考えているのか、ガバナンスにおける社外取締役候補の意味合いと本来の役割などについて伺いました。

委員からの意見・感想

審議委員A

特徴があってこの時間帯には良い番組。日経新聞を読むくらいのビジネス的存在価値がある。業界ならではのオフトークにするのか、世間ごとがわかるようなガイド番組にするのか、もしくは両方追いかけるのか、その岐路に立っていると思う。

業界ならではのオフトークでも面白いし専門用語が西田節でいいと言うこともある、また裾野を広げるのも、どちらの方向性もあり得る。

フジメディアの話は放送日が株主総会の前ということもあり、べき論が多くもっと恣意的なトークがあると面白かったのではないかな。個人的には気にしている番組なので今後も試行錯誤していただきたい。

審議委員B

株主提案やコーポレートガバナンスなどの話しが聞けてとても勉強になる番組だった。

投資家の内部での話しが聞けるのは貴重。気になるフジメディアの話しが聞けたが、ダルトン・インベストメンツがスポンサーなのでプレゼンっぽく感じた。

違う視点の質問があればバランスがとれて良かったのではないかな。

あつと言う間に聴けたが、より今を切り取っていただけるとさらに興味が湧く番組なるのでは。またイベント向きの番組だと感じたので、今後はその方向でも発展できるのではないかと感じた。

審議委員 C

番組としては楽しく聴けたが、フジメディアの話しだったので面白がってだけはいられなかった。株主総会が終わったタイミングでダルトン側の提案がなぜ受け入れられなかったかなどを番組で紹介してもらえたらさらに良かったのではないかと感じた。

一方で、この回で昨今のフジテレビの問題点を改善する提案をしている割に、アナウンサーが議論に入らない、女子アナをサブ的にしか使っていない事に違和感を感じた。

審議委員 D

「個人投資」の分野ではなく、企業経営に関わる投資家や経営者を取り上げる専門的な番組ということで、とても興味深く拝聴した。

横文字や専門用語が多く、正直すべてを理解できたわけではないが、むしろこれくらい尖った内容でリスナー層を絞り込んだ方が、本当に知りたい人・関心のある人にとって価値のある情報番組になると思う。このままの方向性で思い切って放送を続けてほしい。

普段は表に出てこない当事者たちがこうしてメディアで語る場を持つことは、とても意義のあることだと感じた。

江連さんの聞き手としての巧みな進行が特に印象に残った。今後は、江連さんがもっと積極的に話を振って進行していくと、さらに人気の番組になっていくのではないかと感じる。

審議委員 E

メディアに出ていないフジメディアに対するダルトン側の言い分を聴いた回であった。

業界用語の説明がなされていないのは、理解できる層が聴いているのであればこれでいいのではないかと感じる。

番組の流れの中での江連さんの位置付けは、もう少し自由に意思を示す発言があってもいいのではないかと感じた。

—会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上